

自己評価票

【自己評価の意義・目的】

- 自己評価は、事業者自らが主体的にサービスの評価を行い、サービスの提供状況を見直すことにより、サービスの質の向上を図るシステムの1つです。
- サービスの質の向上は、この自己評価をはじめ、事業者の取り組みを第三者の目で確認して評価を行う外部評価や第三者評価、苦情解決制度や権利擁護制度、さらには、アンケート調査等による利用者からの声の反映、オンブズマン機能などが相まって実施されることにより達成されるものです。
- この自己評価の結果を公表することにより、利用者にとっては、客観的な指標、判断材料として事業者の選択に役立つものとなります。

記入年月日	平成 20 年 2 月 1 日									
法人名	イツキケアサービス									
代表者(理事長)名	伊藤 香									
介護保険事業所番号	2	7	7	4	9	0	0	5	3	0
サービスの種類	・ 認知症対応型共同生活介護 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所									
	・ 介護予防認知症対応型共同生活介護 ・ 介護予防小規模多機能型居宅介護事業所									
事業所名称	ぐるーぷはうす なごみ									
事業所所在地	大阪府 富田林市 東板持町 3-15-5									
記入担当者職・氏名	(職)管理者 (氏名)鳥飼 智之									
連絡先電話番号	(0721)30-3336									

自己評価項目構成

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【自己評価の実施方法】

- 運営者(法人代表者等)の責任の下に、管理者が従業者と協議しながら実施してください。
- 「評価項目」ごとに評価をしてください。
- その判断した理由や根拠のポイントを記入してください。
- 少なくとも、年に1回は自己評価を実施してください。
- 優れている点や改善すべき点などの特記事項についても、別途、記録しておいてください。
- 改善すべき事項については、改善のための計画(任意様式)を作成してください。
- 利用者やその家族等が今後、サービスを受けようとする時の情報として、この評価結果を利用できるように、利用申込者又はその家族に交付する重要事項説明書に添付の上、説明するとともに、事業所内の見やすい場所に掲示するなどし、評価結果を積極的に公表してください。
- 評価結果及び記録等は、評価を完了した日から3年間は保存してください。

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>ぐるーぷはうす なごみ理念 『その人らしさを大切に 自発的、主体性を持ち支えあう』</p>	<p>理念の構築を踏まえて、理念の意味を全スタッフが理解できる様、勉強会をしたいと思います。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念を共有し日々努力しています。</p>	○
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>家族様には毎月発行の『なごみだより』に理念の掲載をし確認して頂いています。</p>	○
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>地域の方とは、全員顔なじみで、散歩等で出会うとお互いから挨拶をされています。</p>	<p>少し離れた喫茶店の方とも顔なじみになったので今後少しづつ隣、近所だけで無く輪を広げて行きたいです。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>毎週水曜日地域主催の『ふれあい喫茶』、自治会による、公園清掃も参加し交流を積極的にしています。</p>	<p>少し離れた喫茶店の方とも顔なじみになったので今後少しづつ隣、近所だけで無く輪を広げて行きたいです。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	毎週水曜日地域主催の『ふれあい喫茶』、ちらか ら、この様な話題をする事は無いのが反省点で す。	○	毎週水曜日地域主催の『ふれあい喫茶』を通じて 今後、地域の方に報告したいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年6月に実施しています。	○	今後、毎年の結果を定期的に確認しあい、直すべ き所を早急に改善したいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこの意見をサー ビス向上に活かしている	運営推進会議後スグに報告書を作成し全スタッフ 確認印後、サービス向上に努めています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	これからは、管理者自身も富田林市高齢介護課や 社会福祉協議会へ数多く出向き意見等の吸収に努 めます。	○	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会を通し、権利擁護について意見や 助言を頂いてます。	○	平成19年認知症介護実践者研修に基づいて勉強 会を設けて行きたいと思います。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている		○	平成19年認知症介護実践者研修に基づいて勉強 会を設けて行きたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に見学も含め利用者様、家族様交えて話し合いの場を設けています。</p>	<p>契約を結んだ後も来宅された際など、いつでも話をして頂ける雰囲気作りに努めます。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>随時、電話等で家族様へ報告・連絡・相談をしています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>随時、電話等で家族様へ報告・連絡・相談や家族宛の月報『なごみだより』を通じて報告しています。</p>	<p>『なごみだより』だけでは無く来宅された際にも随時報告させて頂いています。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>随時、電話等で家族様へ報告・連絡・相談や家族宛の月報『なごみだより』を通じて報告しています。</p>	<p>『なごみだより』だけでは無く来宅された際にも意見等を聞き頂いた事を運営に反映させて行きます。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>就業前の時間や利用者様入居室誘導後など日常的に話の聞き取りをしています。また毎月の会議や年に1回は運営者と個々に話す機会を設けています。</p>	<p>○</p> <p>毎月の全体会議で発表の場を設けていますが、なかなか新人スタッフが話出来ない様なので今後、意見の活発化を踏まえて話せる雰囲気を作ります。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>毎月の勤務希望や休日希望日等を聞き柔軟に対応しています。また年間の家族参加イベント等においてスタッフ人員確保出来ています。</p>	<p>今後もっと円滑に進めれる様にスタッフの意識改革も進めて行きます。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	相談時間が少ない様に思われます。		スタッフからの、報告・連絡・相談は作っているつもりですが、今後は【相談】に重点を置いて時間を増やしたいと思います。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年、大阪府主催の研修へ参加しています。	○	今後、新人に対して質問・疑問を聞き取り、それに応じた勉強会を増やします。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	富田林市縄なわネット、施設部会の参加に取り組んでいます。		地域同業者以外での、知り合いを通じて同業種スタッフとの交流会を実施したいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個々に助言は行っています。	○	スタッフからの、報告・連絡・相談は作っているつもりですが、今後は【相談】に重点を置いて時間を増やしたいと思います。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	疑問や分からない事に対して、答えや事例を出したり、また各自得意な分野、好きな分野を把握して担当として受け持ちして貰っています。		新入スタッフを中心に『業務』と『仕事』の違いを理解し意識改革にも取り組んでいきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		○ コミュニケーションは取っていますが、まだまだ時間が不足している事は全スタッフが実感しており改善したいと思います。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話等で個々に行っています。	○ 家族様来宅時、全スタッフからもっと話が出る様にし家族様との距離を縮めたいと思います。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている		高年齢者サービスの集まりの参加実施を検討しています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	オムツ外しには家族様に説明、経緯等を話し納得して頂き利用者様のペースに合わせて進めました。その後もサイズ変更等の相談も家族様と密に連絡、相談しながら進めています。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	午前・午後とリビング等で一緒にゆっくりと話す時間を作っています。	介護する側の都合よりされる側の立場。を常にスタッフが考えられる様にしたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	契約時には、なごみとしての家族様では乗り越えられない事もある事を御理解して頂いてます。	○	来宅された時には立ち入り過ぎず色々と日常生活を話しさせて頂く様に心掛けたいです。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	花見・敬老会・クリスマス会などイベント参加をハガキ、電話等で促しています。	○	頻繁に来宅して頂ける家族様が決まっているので、来られない家族様への連絡を何らかの形でしていく工夫を考えたいです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	こちらから連絡し本人との関係が途切れないないよう、色々な形で連絡する努力をしている。	○	
31	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	表情を確認し1人でおられる時はスタッフが横につき雑談含めて話をしたりレクを通じて利用者同士の関わり合いの場を設けています。		今後はもっと、その様な時間を作って行きたいと思います。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ハガキや電話、来宅して頂く場合もあり、お付き合いが続いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様と話し、希望通りに沿える様努力しています。また、それ以外の方には利用者様本位で努めています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		○ 全スタッフが利用者様のアセスメントを確認、理解出来る様今後時間をつくります。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送り内容を濃くし情報の共有化を計っています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケア記録や申し送りを通じてスタッフからの意見や来宅された際、家族様にも話や意見を頂きケアプランの作成をしています。	○ 毎月の全体会議で発表の場を設けていますが、なかなか新人スタッフが話出来ない様なので今後、意見の活発化を踏まえて話せる雰囲気を作ります。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケア記録に基づいて、見直し及び改善をしています。	家族様来宅時、もっと時間を頂いて話をして意見の収集をして行きたいと思えます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録の充実を図り日々考えながら介護をしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	年間行事以外でも外出する等、利用者様の生活にメリハリをつけて頂いています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域主催の『ふれあい喫茶』にて民生委員や近隣住民と交流を蜜にし協力して貰ってます。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	社会福祉協議会等と話し合い、支援して頂いています。	○	今後、もっと色々な角度で支援できる様にしていきたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	社会福祉協議会の方と協働しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	今後、スタッフ全員とドクター・ナース交えて話し合いの場を設けて行きたいと思います。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	今後、スタッフ全員とドクター・ナース交えて話し合いの場を設けて行きたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	御家族を含めて十分な話し合いを行っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録は、個人情報マニュアルに基づいた指導を心掛けています。	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様の希望で散歩の要望が出た時、自由に外出して頂いています。		食事訴え等何度説明しても理解して頂けない時簡単に説明しているので改善します。また、会話を増やし何を言おうとしているのか理解する努力をしていきます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事は利用者様個人のペースに合わせた時間作りや立ち上がり介助のタイミングも個々に変えています。		着衣交換等、スタッフ側のスピードでしている事もあるので改善したいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入眠居室誘導時、翌日の着る服を利用者様自身に選んで頂いています。女性利用者様には外出時、髪を整え、お化粧品させて頂いています。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	後片づけは利用者様がされています。(独歩の利用者様)	○	食時作りは、ほぼ全部スタッフだけで行う事が多いので少人数の利点を活かして今後利用者様と作る事で統一して行きたいです。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	健康等考慮しタバコはこちらで管理し本数制限有るものの訴えある時、ほぼ自由に提供させて頂いてます。飲酒も健康状態を見つつ無理なくその場に応じて提供させて頂いてます。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	去年末より1名オムツ外しをし、日中『布パン』夜間『リハビリパンツ』で対応させて頂いてます。	○	トイレ誘導各利用者様の排泄パターンの把握が出来ていない為今後対処して行きたいです。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の声掛けに拒否された場合、『時間』『場所』『人』を変えて夕食後など入られる気分に合わせて夜間入浴で対応しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	浮腫のある利用者様にはリビングで過ごして頂く場合、足を高くし楽な姿勢で対応しています。また起床時間も介助無い利用者様に関しては基本的に自由にして頂いています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩が好きな利用者様には、一緒に付き添いながら楽しくして頂いてると思います。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	利用者様自身が管理されている方もおられ、散歩に行かれた際自由に買い物をして頂いています。	○	近所にお店が無いが散歩がてらに今後、本人の希望する物を一緒に買いに行きたいです。
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	一緒に散歩行く利用者様に依りて場所を選んで天気の良い日には行くようにしています。		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	季節に依りて場所を選び出掛けています。また、家族様の参加も呼び掛けています。		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	利用者様自らの電話は難しいが、スタッフが家族様に掛けた際、電話で直接話して貰ったり利用者様自身に年賀状を書いて頂き対応しています。		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	家族様来宅された際、一緒に食事の声掛けをさせて頂いています。	○	家族様への声掛けを全スタッフが出来る様、統一したいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	事故、怪我等に配慮して出来る限り自由にして頂いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体・精神的拘束を常に考え、日中は内扉共に施錠せず、散歩の声掛けにも『どこ行くの?』等言わずにしています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ケアカンファレンス等を通じ、見守り強化・所在確認・スタッフ間の声掛けの徹底を図っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	喫煙者のタバコ、利用者様薬など書庫にて保管。またトイレ薬剤は手の届かない所に保管しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎月の全体会議で事故・ひやりはっと報告書に基づきケアカンファレンスを行い防止の取り組みを行っています。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルを配布し対応の説明を全スタッフに行っています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回(昼・夜)災害訓練を行い、誘導・通路の確保など確認しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	徘徊や転倒等についてのリスクを理解して頂いて ます。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入浴や排便状況などの状況には充分注意し異変の 発見に努め情報を共有し対応しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬には理解し症状の変化に応じた服薬をして頂 いてます。	○	スタッフにバラつきがあるので、新人スタッフを 主に今後、勉強会をしたいと思えます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日排便の確認と便秘の利用者様には入眠し服薬 して頂いてます。また、訪問看護師とも連携し対 応しています。	○	補水強化など、スタッフには徹底したいと思いま す。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアは実施しています。また、入眠 時には入れ歯を預かり週2回消毒と別日の歯科医 による消毒しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分・食事をチェックしている。	○	カロリー計算等今後勉強会を行いたい。朝食に嚥 下しやすい様に利用者様によって主食をパンか ら、おかゆに変更など考えていきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルに基づき予防措置も含めて完全実施している。リビングに乾燥を防ぐ為加湿器を置いている。食事前など手洗いも実施している。	○	『お絞り』『まな板』『包丁』『ふきん』の日光消毒を完全実施する様に統一します。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品衛生講習会の結果に沿って衛生管理している。	○	『お絞り』『まな板』『包丁』『ふきん』の日光消毒を完全実施する様に統一します。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りなど花を置くなど家庭的な様に努めています。また夏季は玄関扉を網戸だけにし、いつでも入って頂ける様にしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎に玄関周りの花を植え替えています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング・食堂・居室と自由に行き来して頂います。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	花や御自身が使用していたオルガン、タンス、椅 子、文机など置いています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	タバコや調理時など換気に注意している。気温に 合わせ居室はエアコンで対応しています。		廊下など温度が低い所もあり対応して行きたいと 思います。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	階段が急勾配なため昇降機で対応しています。通 常、歩行介助含めて出来ない事を支援やお手伝 いをさせて頂いてます。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	ゆっくりと利用者様のペースに合わせた介助や声 掛けを心がけています。	○	もっと個人の特技を知り生かせる様にしたいで す。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	建物状況を考慮して日光浴をして頂いてます。		春先になれば、ガレージでの昼食も催したいで す。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ○ ②数日に1回程度 ○ ③たまに ○ ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

パーソンセンタードケアを目指し、業務優先が改善され利用者様との関わる時間が少しずつ増えています。
また、地域の方とも積極的に交流を持ち協力や助言も頂き溶け込めているのも自慢の1つです。
今後は、【いかにも施設】と言う通常の建物では無い特性を生かしつつ各利用者様の『出来ること』『出来ない事』を全スタッフが把握し、利用者様と一緒に なごみ を盛り上げて行きたいと思えます。